

ひろば  
大代

平成元年 1.5

大代公民館

同和教育で自覚するもの

公民館運営委員長 田辺 孝

▼人間の尊さ

「人間である限り生まれそなわっている人間の尊さがあり、人間らしく生きていく権利がある。王侯大臣といえども、この権利を犯すことは許されない。ひとりひとりの人間が自分を大切にし、自分の意思で物事を決定し、他の迷惑にならない限り、何ものにもしぼられず自由に行動しながらそれぞれの幸福を求めて生きていく。」

それでこそ、はじめて人間らしい人間といえるのであって、このような人間の本性に根ざした当然の権利であるから、何ものにもまして大切に守り抜かねばならない。これを失うことは、人間であることをやめるにひとしい。これは「人間の尊さを守ろう」の中の一説を抜粋してみました。

日本国憲法というものは、このような人間としての願いにもとづいた基本的

人権が、戦争放棄、主権在民の規定とともに、高らかにうたいあげられていること、この最高の法規が完全に実施されることによってみんなの幸福が約束されるのだということ、みんながこの憲法を守らなければならぬということをおりにふれ徹底的に話し合いたいものです。

だが実際、底辺に生きる人達は、差別の被害者として、ありとあらゆる形で人間性の尊厳をふみにじられ、国民としての権利を侵害されているのです。そういう矛盾にみちた体制の立て直しに力をつくしながら、だれもがひとり残らず「人間としての願いに目覚め、権利意識に立つて基本的人権を守り抜く人間」になるために同和教育は推進されていくのです。

私たちは「だれもかれも生まれてよかったと思える世の中」にするためには、「生まれてみたけれど」と思わせするような事実を、ひとつひとつ根絶していかなければなりません。そのためにはそういう事実を、矛盾の形でとらえることです。また、それらの事実のひとつひとつバラバラで無関係に存在

するのではなくて、地下墓みたいの一つの根源から生じているのだということも探究せねばなりません。そこで、差別の正体というものはつきりしてくるのではないかと思えます。

(次回は、人間のはたらきを考え合いたいと思います。)

夏祭り(十七夜)の想い出



植松 後藤フサミ

平成元年の十七夜も十日ばかりとなりました。明治大正昭和と生きてきて九十回目(十七夜を迎えること)になります。昔の十七夜をと言われても明治でさえ遠くになりけりと申しますのに、八十年九十年前のことなど記憶もすれて居りますけれど、父が広島から送ってくれたユカタを着て、一銭二銭の小使をもらって何を買ふかと手の中で温かくなる程握りしめていた事、塩あんのまきを帯の間にかくし持っていて、見せびらかした事、その頃は砂糖あんのまきなど作る人はなくみんな塩あんでしたから、作る家さえ皆々ではありませんでした。

夏は植田、その公巨魚の前で大きくなり八才の時に植松にきました。

十七夜は昔も今のように校庭に祭壇を作り式がありました。本町へ出れば奉寄進と染め抜いた大のぼりが所々に立ち、定紋入りの高張提灯があかあかと灯って遅くまで夜店もありました。

夜の芝居も面白く、阿波の鳴門や石童丸で涙を流し、お夏清十郎ではヤキモキし、切り狂言の一幕では鎌倉三代記の袖萩、一ノ谷のふたば軍記等、今のテレビでは何年か一度は見る芝居です。若い人には向かない芝居ですけれど。

近年人口流出で家は減り、人口も少なくなり、さびしい十七夜になりつ、あります。

一方さびしい祭りを引き立ててくれるのが揃いのハッピの子供みこし。中学校の生徒による田植ばやし、少ない人数で昔からの伝統をよく守って下されます。

是からも頑張ってください。  
来年の十七夜も元気で

迎えたいものですが……

大代っ子クラブ活躍！

大代小学校

全国少年卓球県予選大会が去る六月十八日、松江西高校屋体に於て行われ、大代っ子クラブは昨年に続きすばらしい成績を納めました。

男子の部

一位 大代っ子ク B 武田隆広

田辺信二

後藤克也

(八月八日於東京、全国大会出場権を獲得)

二位 大代っ子ク A 竹間良太

角 智宏

原田美寛

(八月一日於大阪、西日本大会出場権を獲得)

女子の部

四位 大代っ子ク A 森田才恵

渡 良子

山下静江

六位 大代っ子ク B 横田真巳

三宅有紀

田辺和美

頑張ってください。

大田市消防団ポンプ操法大会！

万一の出火に備えて何時でも、誰でも対応出来る態勢づくり——

大田市小型動力ポンプ操法競技大会が去る六月十一日大田消防署で行われました。

市内二〇分団から約四〇〇人が参加大代分団チームからは次の選手が出場致しました。

指揮者 鈴木 敏幸(川上)

1番員 権原 広(権)

2番員 藤井 裕(柿田)

3番員 笠井節夫(川上)

日頃の訓練を生かして見事優勝の栄誉を獲得、来る八月二十六、二十七日鹿足群日原町で行われる島根県大会へ出場する事になりました。

皆さん御声援下さい。

応急手当の知識

炎天下で倒れたとき——



長時間直射日光に照らされると起ります。

### 症状

皮膚は熱く乾いてくる。脈拍は大きく早い。頭痛、めまい、吐き気などが起り、ひどい時には意識を失います。

処置  
①涼しいところへ運び衣服をゆるめて薬にさせます。

②体温が高いときは冷たい水で全身の皮膚を拭いたり、氷枕や氷のうで頭を冷やしたりします。

③それでも駄目な時は、体をシーツなどで覆い、最初はひなた水ぐらゐの温かきの水を温度を下げ乍ら足の方から上の方へかけ、体を冷やしていきます。病院へ運ぶ途中も続けます。

④同時に心臓に向かって全身マッサージをします。

⑤アルコール類は絶対に飲ませないようにします。もし患者が欲しい時は水、できればうすい食塩水を与えます。

⑥早急に医師のところへ行きます。

7月 少年健全育成指課  
ウソは非行の赤信号

### 都市交流事業について

#### 都市交流推進協議会



私達の地域には、住民夫々に明日を夢見る希望があり、限りない願いがあります。

現在の様に過疎が進行して人口は減少する一方、地域内の機能は益々統合され、縮小され、又農業の先行きも暗く、さびれて行けば行く程どうすることも出来ない時の流れに不安や焦りを感じます。

従って地域の活性化、魅力化、連帯感などの声が高まって来るのも亦自然だと思えます。

「私達の郷土には見直せば必ず誇りとすべき、誇りとした立派な資源や要素が何処かにある。何かがある。然し生活の馴れから私達にはそれになかなか気付く事が出来ない。」

何年か前NHKの渡辺誠也氏が講演会の折指摘された言葉です。

例えば美しい緑や静かな自然が存在しているても何ら感動も起こらない。騒然とした大都会に住む人達でなければ感じ取る事が出来ないのも事実です。

私達の郷土は地域を形成して来た長い歴史や生活文化があり、自然の中から生まれる農産特産あり、そして素材にして温かい人情あり、日本中探しても決して二つとない大代独得の良さがありません。

その地域らしさを追求し創造していく事こそ大切な事ではないでしょうか。郷土に生まれ郷土出身者の多い都市の人々との交流を図り、ふるさとの良さを知り、郷土愛、郷土意識を高揚し乍ら生活、文化、消費などの諸情報を交換し、夫々が都市と産地の役割を考え、活性化の要素を創り出すきっかけに致したいと思えます。

その中で地域産業、特産、物産の振興や最発見などアイデア的要素を探究する良い機会ではないのでしょうか。

#### 生活のしおり

—石油ストーブをしまう時—  
石油ストーブをしまう時、つい面倒でそのまゝ物置きに……ということはありませんか？

石油ストーブを長もちさせるには、しまう時の手入れが大切です。

ポイントはタンクの中を完全に空にする事です。

(1) 先ずタンクの中の油を抜き取る事

(2) タンクの中にはゴミヤカスがたかさんある筈です。そこで新しいきれいな灯油を少し入れタンクをゆすってよくすすぎます。

(3) ゆすいだ後はぼろ布などで中をよく拭き取っておけば完全でまた来年も充分使用出来ます。

(記事「平凡社興業便利帳」より)

### 親子読書とは

— 公民館から —



静かな夕べのひととき、お父さんやお母さんが幼い子供に毎日数分間絵本を読み聞かせてあげることです。

「お母さんのお話は子供の心の中でかすかに鳴りひびく金の鈴です。」

— 童話作家 涼 鳩十 —

今は故人となられましたが八十数才の高齢まで親子読書に情熱を燃やし続けた人で、大田市でも二回に亘って講演され満員の会場を感動一ぱいに埋めた人です。以下講演内容の抜粋です。

親子のふれ合い、それは既に授乳の

ときから母と子のコミュニケーションが始まっている筈です。

もの心つく二、三才の頃から始めると尚効果が挙がると思われれます。

若いお母さん、根気よくやって見ませんか。お話や絵本の嫌いな子供はいません。忙しい一日の中で毎日一〇分〜一五分でよいのです。

お話に集中できる時間帯、静かな雰囲気を作る工夫、勿論家族の協力が必要となります。

更にお母さんの上手な演出によって必ず子供は飛びついて来る筈です。

「山陰TV、土曜夜七時、日本昔ばなし等」すぐれた演出と静かな物語りが大人でさえひきつけられます。」

楽しい雰囲気とお話の中から子供の夢は益々ふくらみ、いつしか空想の世界

太平洋美術展 絵画の部



入選  
晩秋のひだまり  
後藤さつき

(補松)

界にさそい込まれて、自分をヒーローにおき換えてしまうもの、そして小さな子供らしい正義感も身につけます。

▲強制(おしつけ)は絶対の禁物です(読書指導ではありませんから)

絶えまない努力はいつか両親への信頼と相俟って子供の心奥深く浸透し、心の糧となり、やがて大きく成長した晩に再び蘇って来る。(これは涼先生の持論で「善意識」と言われたようです。)

### 水災害に備えて

梅雨の末期

水災害に備えましょう!

- (1) 早めに避難を
- (2) 被害の有った時は速やかな連絡
- (3) 平素から心の準備を

おしらせ



◆社協大代支部から  
川崎市宮前区大蔵

中本研一様より

先般大代町八反田花田幹子様が逝去され、香典返しに替えて御寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

又後日、パトカーの警察官も同じ事で相手に注意しておられたことも伺いました。

タブン大丈夫と内側へ入り込む車、そのタブンが、一生かかっても償うことの出来ない大きな事故につながるわけです。

お互いにもっともっとと交通ルールを守りたいものです。

人事異動

― 四月の人事、役員交替 ―

大代町では四月の異動によって次の通り転出、転入或は役員の一部が交替されました。

転出 (敬称を略す)

◆小学校 (転任先へ)

校長 永井律夫 松江市朝酌小学校

教頭 富吉 純 大田市川合小学校

教諭 多々納哲 松江市第二中学校

講師 田中教子 退職

主事 山崎寿子 大田市大森小学校

※子供みこし造り、卓球クラブ指導など大変ご苦勞様でした。

◆中学校

校長 福島和夫 八束郡八雲小学校

教諭 高木駿平 川本中学校・教頭  
教諭 宇山一彦 鯉川群佐田中学校  
※中学生田植ばやし・音楽教室・同和教育など大変努力して戴きました。

◆農協大代支所

経済係 谷本康治 祖式町農協へ

金融係 山根むつみ 水上町農協へ

転入

◆小学校 (転入先)より

校長 川上光久 美都町二川小学校

教頭 青戸 脩 大田市大田小学校

教諭 北川 靖 松江市持田小学校

主事 森山 訓 大田市志学中学校

◆中学校

校長 今田善行 三隅町三隅中学校

教諭 原 裕子 湖陵町湖陵中学校

教諭 村上幸弘 大田市久利小学校

◆農協大代支所

金融係 藤田薫郷 大田市農協

経済係 飯田晃子 新採用

◆自治会長

※16自治会の内、次の自治会の方々が交替されました。

(新) (旧)

四日市自治会 下垣幸夫 西本 勲

榑 高崎 章 田平勝美

川上 田中久好 渡井秋良

本郷 島田民一 窪田昌三

◆PTA

小学校

会長 日向高弘

副会長 原田光生(留任)田中百合子

中学校

会長 笹木光夫

副会長 森 守・竹間初美(留任)

幼稚園

会長 佐藤哲朗(留任)

副会長 永井利樹

◆婦人会

会長 後藤マサエ (留任)

副会長 藤井房子(留任)・渡 連子

おしらせ

◆赤ちゃん誕生

おめでとうございます

上市 木村幸司さん

悦子さん 亮介君

◆社協大代支部から

上市 横田増弘様

一、香典返しに替えて金一封の御寄附ありがとうございます

